（参考）

令和６年 11 月６日
林野庁 九州森林管理局

「スギ特定苗木の安定需給協定」の概要

１　協定の目的

九州森林管理局では、育林作業の省力化・低コスト化に向け、成長に優れた苗木を積極的に植栽していくと同時に、花粉発生源対策を加速化していく観点から、成長に優れ、花粉の少ない特定苗木の活用を拡大していく考えです。

九州地方では多くの森林が主伐期を迎え、再造林面積が増加していることに伴い九州全体でのスギ苗木が不足しており、スギ特定苗木の生産拡大を図ることが重要です。

そのため、本協定は九州森林管理局とスギ特定苗木の増産意欲のある苗木生産者において、増産に必要となる穂木を提供販売することにより、当該穂木から生産されたスギ特定苗木を安定的に需給することを目的として行うものとします。

２　協定の内容

九州森林管理局が指定する採穂源から穂木を採穂すること、及びその穂木から生産した苗木を九州森林管理局管内の造林地等に植え付ける苗木として森林管理署等と契約した造林事業の請負事業体に納入することを内容とする、九州森林管理局と苗木生産者間の協定となります。

３　協定の期間

令和６年 11 月 15 日から令和 10 年３月 31 日

４　九州森林管理局と協定を締結する苗木生産者

大分県樹苗生産農業協同組合
熊本県樹苗協同組合
株式会社迫田興産

５　協定における苗木の数量

各年度 16,000 本（令和 7～9 年度合計 48,000 本）

花粉の少ないスギ特定苗木の生産拡大支援について

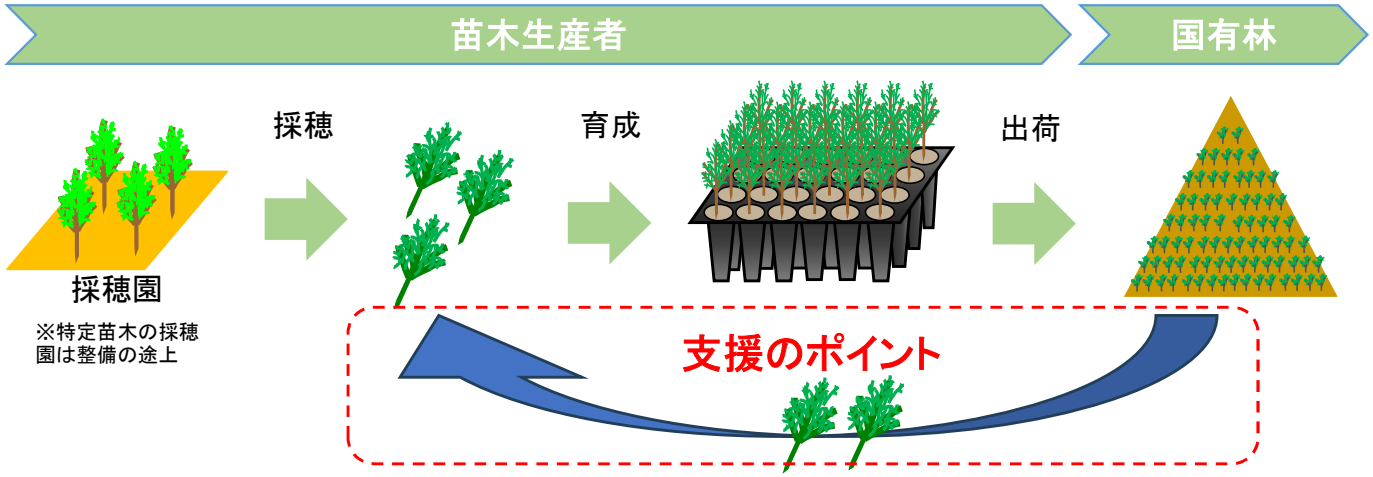
《取組の概要》

○　花粉発生源対策を加速化するとともに、再造林に必要な苗木不足の解消を図るためにも、花粉の少ないスギ特定苗木※1の生産拡大が急務

○　人吉市に所在する国有林（特定苗木を植栽した造林地）が熊本県知事より育種母樹林として採取源指定※2されたことを踏まえ、公募により苗木生産者に穂木を提供
　また、当該穂木から育苗した苗木（の一部）は、協定に基づき国有林で植栽

○　このことを通じて、意欲ある苗木生産者の花粉の少ないスギ特定苗木の生産拡大を後押し

＜苗木生産のサイクル＞



＜生産される苗木＞

※1　特定苗木とは、①成長がよく（通常の1.5倍以上）、②材質に優れ（通直で強い）、③花粉が少ない（通常の半分以下）として、農林水産大臣から指定を受けた品種（特定母樹）から生産された苗木

※2　特定苗木による造林地の採取源指定は、全国の国有林で初の事例

《協定の内容等》

① 生産拡大に必要となる<u>品種系統の明らかな採穂源を国有林が提供</u>

※ 低コストモデル実証団地Dゾーンに植栽している県姶良20号（特定母樹）を採穂源とし、穂木は副産物として熊本南部署において販売

なお、必要に応じ植栽木の断幹処理を行い、複数年活用できる採穂木として仕立てることを可とする

② 協定者は①の穂を育苗し、<u>国有林向けの苗として出荷</u>

※ 植栽業務を請け負った事業体において、植栽用苗として協定者から購入する

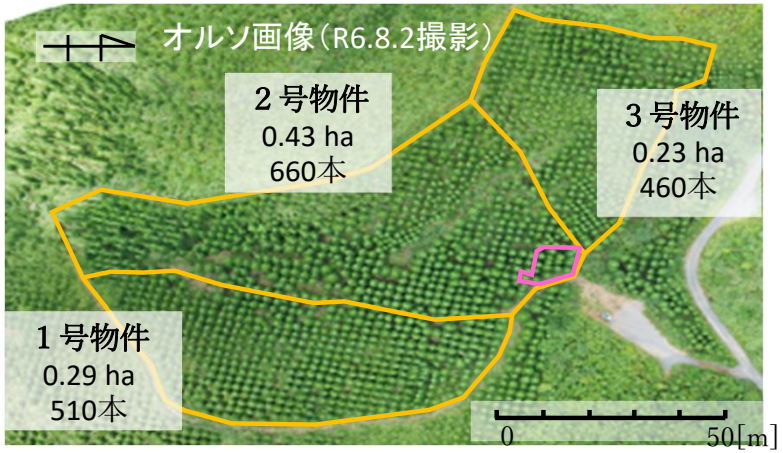
※ 供給予定本数を超える本数を生産した場合には、民有林に納入することも可とする

③ ３者（大分県樹苗生産農業協同組合、熊本県樹苗協同組合、㈱迫田興産（鹿児島県））と協定を締結し、九州各地における生産拡大を支援

＜採穂源について＞

熊本県人吉市西浦国有林21ろ林小班（熊本南部森林管理署管内）
低コストモデル実証団地　Dゾーン

・<u>将来に向けた特定母樹の採穂用のゾーンとして設定</u>し、H29に植栽。
・現地は、<u>花粉の少ない苗木（県姶良20号）の1品種</u>で構成され、作業道とシカネットで<u>区域を明らかにして系統管理</u>。



※熊本県により令和６年10月８日に「指定採取源」として登録

特定母樹って何だろう？

現在日本の人工林では、戦後に植栽された木の多くが収穫時期です。

よーし、切って大切に使うぞ～！！

林リン子

そして次の世代のために、切ったら植えなければ！

しかし、植栽後の初期施業は、とてもコストがかかります。

特に炎天下の下刈り作業は本当に大変～

どーしよー

そんな林業界の強力な助っ人を知っているかい？

フフフ…

それがボク

特定母樹さっ！

どーん

おぉっ

すごーいっ

エリート・ボジュ太

ボクは

①成長よし！(通常の1.5倍以上)
②材質よし！(通直で強い)
③花粉少ない！(通常の半分以下)

など優秀な遺伝子を持つ選ばれた木だよ。
どんどん成長するから下刈りの回数も減らせるんだ。

大臣指定

農林水産大臣にも指定を受けた超エリートなのさ！

ところで君って最近できたの？

Yes

「特定母樹」は最近だけれど、ボクの開発の歴史は長いよ。

特定母樹が出来るまで

①さかのぼること、S29(1954)年日本全国から山一番の木が精英樹として集められた

その数約9,000本！

スギ、ヒノキ、アカマツ、クロマツ、カラマツ、トドマツ、エゾマツ、リュウキュウマツ

精 精 精 精

②精英樹を同じ環境下で育てて、成長の良いものを絞り込み

③その選ばれた精英樹同士を交配させ

精 × 精

④20万本以上の苗木を試験地に植栽(全国2,000箇所以上、約2,900ha)

⑤30年以上定期調査を繰り返し・・・

エリート エリート

⑥成長の早いものを第2世代精英樹(エリートツリー)に決定

⑦さらに第2世代精英樹同士を交配させた試験も現在進行中

そして、これら60年以上の育種研究調査の結果見出された、格別に優秀な特徴をもつエリートツリーの中から、

さらにこのボク**特定母樹**を選びだしたのさ！

ピーン

ものすごい時間と労力がかかっているんだね～！

特定母樹を広げるために

よーし！そんなにすごい特定母樹の苗木なら、どんどん植えていこう！！

そのためにあるのがボクを増やす原種園と採種穂園なんだ

ボクからとった穂木を・・・

原種園　特定母樹を保存し、挿し木や接ぎ木でクローンを増やして育成

挿し木

接ぎ木

採種園や採穂園　苗木を作るために、出来上がったクローンを採種穂園で育て

種子や穂木を生産する

これらを、苗木生産業者等に配布し、苗木を生産する。

特定母樹を植えることで

こうしてできた特定母樹から増やした苗木が、日本の林業に役立つんだ。

成長が早いので下刈り作業の労力が軽減!

成長が良好なので より多くの二酸化炭素を固定できる

CO_2 CO_2

地球温暖化対策に貢献

たすかるー

林業は循環産業

収益は次世代の森林づくりに還元

製材工場

花粉が少ないので花粉症対策にも

形質が良いので、良品質の木材が生産できる

林業の循環スピードもアップだ！

良い点がいっぱいの特定母樹に期待だね！

作　平田 美紗子（林野庁職員）　発行　林野庁 研究指導課

2021年4月